

調査結果から見た各河川の特徴

河川名	流域面積 (ha)		河川延長 (m)		河床平均勾配 (%)		河川工作物		崩壊地		渓流		過去の災害及び土石流の発生状況等	保全対象
	a	ha	延長 (m)	平均勾配 (%)	設置数	落差 (m) (0.4m以上の基数)	魚類等の生息状況	個数	面積 (ha)	崩壊率 (%) b/a*100	渓流内滞留土砂量 (m ³)	滞留土砂量 c/a		
本流(支流を除いた部分)	841	8,184	9.4	7	0~2.6 (4基)	毎年カドマ・シロギをふ化場上に放流している。盤の川との合流点より上流部にサケ科魚類の生息あり。	46	11.71	1.39	35,690	42	過去の災害及び土石流の発生状況等		
温泉川	93	880	14.4	3	1.5~5.1 (3基)	現在サケ科魚類の生息あり。	12	1.04	1.12	550	6			
盤の川	595	5,257	12.9	2	1.7~2.2 (2基)	現在サケ科魚類の生息なし。	50	9.95	1.67	8,470	14	過去には、10~15年おきに土石流が発生している。昭和54、56年に激甚災害を受けている。本流のNo3号ダム堆砂、及び勝利橋上流部において土石流痕跡(堆積)が見られる。	道道93号、町道、橋梁(岩屋別橋、鴻流橋、勝利橋)、ふ化場、ユースセンター、温泉村、登山ヒュッテ等	
ワベ川	322	3,118	21.2	2	2.0~2.5 (2基)	現在サケ科魚類が生息する。	19	3.36	1.04	11,355	35			
赤イ川(白イ川を除いた部分)	1,295	9,415	6.8	13	0.2~3.2 (12基)	白イ川との合流点より上流には現在サケ科魚類の生息なし。合流点下流には現在サケ科魚類が生息する。	41	7.83	0.60	14,005	11			
白イ川	949	3,852	10.5	0	0~5.1 (23基)	現在サケ科魚類が生息する。	24	5.01	0.53	4,780	5			
全域	4,095	8,184	9.4	27			192	38.90	0.95	74,850	18			
ルンヤ川	2,130	8,180	4.2	3(4)	0.3~0.6 (2基)	現在サケ科魚類が生息する。	50	14.89	0.70	24,800	12	昭和47、48年集中豪雨により甚大な被害が発生した。	林道、ふ化場	
モセカルベツ川	816	7,237	14.4	12	0.2~3.8 (11基)	現在サケ科魚類が生息する。	118	36.24	4.44	20,600	25	昭和62年の豪雨により土石流が発生している。ダム堆砂場に土石流痕跡(堆積)が見られる。	道道87号、茂瀬茂別橋、番屋、冷蔵倉庫、ふ化場、水産加工場等	
オッカバケ川	1,566	7,722	10.4	3	0.1~4.7 (2基)	現在サケ科魚類が生息する。	151	57.29	3.66	50,900	33	平成2年の低気圧による大雨により河川が荒廃した。	道道87号、朔北橋、番屋、民家、水産加工場、柳が、津港等	
サシムイ川	2,246	7,281	9.3	2 (2基とも魚道付き)	1.9~2.7 (2基)	現在サケ科魚類が生息する。	47	31.94	1.42	38,765	17	昭和41年の豪雨により河川が荒廃した。	道道87号、刺類橋、物置、民家、公園等	
ケンネベツ川	756	4,417	16.5	8	2.7~9.5 (8基)	現在サケ科魚類が生息する。	19	6.97	0.92	12,923	17	昭和40年の台風23、24号の集中豪雨により甚大な被害を受けた。	道道87号、建根別橋、番屋、民家、倉庫等	

